



第 55 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、松ノ下 幸人さんにご紹介いただいたこの方は、「曾於の暮らしに溶け込む、アメリカ生まれの“よかにせどん”なスゴイ人」とのこと。インタビュアーは大村 信夫でお届けします。

【今回のスゴイ人】

Kansha Farm
ロバートさん



今回は、アメリカのご出身で財部町に生まれているロバートさんにお話を伺いました。

妻のリアさんのお父さんの故郷である曾於市に移住し「Kansha Farm (カンシャファーム) を経営。アメリカと日本を行き来する生活を送り、2019年から本格的に移住されました。

「もともと旅行に行くのが好きだったし、新しい文化に触れることは価値観も広がりワクワクしていました」と母国を離れて日本に住むことに抵抗は無かったそう。

「同じシャツを着るし、車にも乗る。日本もアメリカも大きな違いはないですよ」とロバートさん。住み始めてからも大きな戸惑いは無く生活を送っていました。しかし、ここは日本。公用語は日本語で、英語が話せない方も多くコミュニケーションを取り越えようとただ日本語の勉強をするだけではなく、知り合いに声をかけてもらい地域のママさんバレーにも参加。バレーを通して

積極的に会話をしているそう。

現在、二人が経営する「Kansha Farm」では土作りからこだわり、無農薬で野菜などを育てています。「唯一無二の存在である地球。この奇跡である場所を自分たちが出来る範囲で守っていきたいんです」と環境保全を考えるロバートさん。数量限定で販売しているパンケーキミックスでも環境保全にこだわり、土に還る素材のパッケージを使用。「感染症拡大が続く中、暮らし方が変わってきつつある世の中。こういった環境にやさしいサステイナブル(持続可能)な生活の仕方が、田舎で暮らす一つの見本になれば」と考えているそう。

また幅広い世代への英語教育にも取り組んでいます。「自分が世界に出て経験したことと同様に、世界に出るきっかけを作りたいんです」と市内の中学生には英語スピーチコンテストの指導も。何事にも熱意を持って取り組むロバートさん。今後もご活躍を楽しみにしています！

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて

人生で初めて英語でのインタビュー。緊張していた中、ロバートさんの優しい笑顔と気遣いで自然と笑顔が溢れ楽しい時間を過ごすことができました。本当に楽しかったです！



Kansha Farm

曾於市財部町下財部 4200 番地 2
☎ 080-6794-2482

ホームページ



協力隊の今日この頃

とうとう残すところ任期も1年を切りました。周りの方々のお力添えがあり、充実した日々を送っています。先日は、昨年引き続き曾於高校で総合的探究の時間の一環として「観光×ローカル」をテーマに講演をさせていただきました。そこには、多くの末吉中の卒業生もいて何だか感慨深い。東京など大きな都市に惹かれることもあるかもしれないですが、こんな自然豊かな土地で美味しい食べ物

にも恵まれ贅沢極まりない生活を送っているんだよー。みたいな話をさせて頂きました。そばにあるからこそ気付かない贅沢さ。そこに気付いた時もっと曾於市のことを好きになってくれると嬉しいなと思います。今後の進展が楽しみです。今年も継続して、Instagramで英語の情報を発信していきます。この情報をきっかけに少しでも英語が楽しい。と思ってくれたら嬉しいです！ (大村)



曾於高校で講師をしました

英語を楽しく!!
かごしま弁の
英語訳やクイズを
Instagramで
発信しています!

